

令和8年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)「成長分野転換枠」＜継続分＞
申請書

令和8年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	北海学園大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	北海道
大学全体の総収容定員	7,180 名 ※令和7年5月1日時点		
学部学科 組織構成	経済学部1部（経済学科、地域経済学科） 経済学部2部（経済学科、地域経済学科） 経営学部1部（経営学科、経営情報学科） 経営学部2部（経営学科） 法学部1部（法律学科、政治学科） 法学部2部（法律学科、政治学科） 人文学部1部（日本文化学科、英米文化学科） 人文学部2部（日本文化学科、英米文化学科） 工学部（社会環境工学科、建築学科、電子情報工学科、生命工学科）		
事業計画名	北海学園大学における情報系学部設置計画		

2. 事業概要

本事業では、データ駆動型社会の進展と地域産業の高度化に対応するため、「情報科学部（仮称）」を新たに設置する。情報科学を中核とし、電子情報、知能情報、生命科学といった先端分野の知見を融合することで、地域社会や産業界が直面する複雑で学際的な課題に対して、実践的な解決策を構想・実装できる人材の育成を目指す。新学部では「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」の「応用基礎レベル」の認定を視野に入れたカリキュラムを設計し、学部全体で高いレベルでデータを扱う人材育成の基盤を形成する。情報科学部では、数理・情報を共通基盤に据えたうえで、「副科目群履修制度」によりバイオ・農業・医療・社会インフラ等への応用を可能とする。情報エレクトロニクス学科では、地域の産業ニーズに応えるべく、半導体・電子回路・組み込みシステムに特化した教育体制を構築し、修了者には「半導体人材認定制度」による実務能力の証明を付与する。 以上の取り組みにより、北海道という広大かつ多様な地域を支える高いレベルでの専門人材の輩出と、産業構造の進化を牽引する学際的拠点の形成を図る。
--

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和10年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	情報科学部					
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	北海道札幌市中央区					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	130 名					
他学部等の入学定員の減少数	130 名					

事業計画名 北海学園大学における情報系学部設置計画					
基本情報					
改組予定年度	令和10年度	設置等組織名	情報科学部 情報エレクトロニクス学科・情報科学科	入学定員増数(合計数)	130名
所在地	北海道札幌市	改組内容	学部の新設(当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの)	入学定員減数(合計数)	130名

社会や地域のニーズ・課題

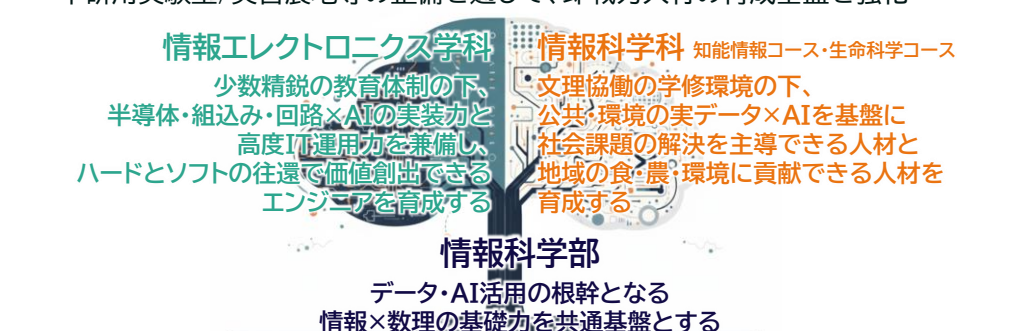
- 北海道では半導体(ラピダス関連)・データセンター等のデジタル産業の拡大に対応し、回路設計／制御・通信／組込みとAI実装を一体で担える人材が不足
- 医療・食品・農業・環境分野の実データ活用が進み、収集→解析→可視化→意思決定を一貫して推進できる実装型データ人材の需要が増加
- 2040年にはAI・ロボット活用を担う理系人材が約300万人不足すると見込まれ、その解消には工学・数理・情報・自然科学を系統的に学ぶ環境が不可欠

教育内容・育成する人材像

- 情報エレクトロニクス学科:半導体素子・電子回路からロボット／ドローン等の応用まで学び、ハード×ソフト統合で先進領域に挑む人材を育成
- 情報科学科:文系出身者にも対応した基礎教育や個別支援体制を通じて、AI・機械学習・データサイエンスの基礎を幅広く修得し、大規模データの価値創出を担う実装型データ人材、および生命科学・食・農・環境の課題に情報技術で貢献できる地域志向のデータ駆動型人材を育成

設置学部等の概要・コンセプト・特徴

- 情報エレクトロニクス学科と情報科学科の2学科体制により、電子情報・知能情報・生命科学を横断する教育で「つくって動かすデジタル」を実現する学部を設置
- 旧来の重複カリキュラムを整理し、教育の効率化と出口の明確化(半導体・IT・製造業・農食品・自治体)を実現
- 数理・データ・AIを共通基盤に、MDASH応用基礎レベル認定を取得
- 実装環境としてクリーンルーム/VRルーム/モーションキャプチャールーム/工作室/卒研用実験室/実習農地等の整備を通じて、即戦力人材の育成基盤を強化



情報エレクトロニクス学科
少数精鋭の教育体制の下、
半導体・組込み・回路×AIの実装力と
高度IT運用力を兼ね備え、
ハードとソフトの往還で価値創出できる
エンジニアを育成する

情報科学科 知能情報コース・生命科学コース
文理協働の学修環境の下、
公共・環境の実データ×AIを基盤に
社会課題の解決を主導できる人材と
地域の食・農・環境に貢献できる人材を
育成する

情報科学部
データ・AI活用の根幹となる
情報×数理の基礎力を共通基盤とする

連携を通じた教育体制の整備

- 半導体人材育成拠点形成事業参画校として、地域大学・企業との先端設備の共同利用、共同教育で実装力を底上げ
- 北海道デジタル人材育成推進協議会参画校として、IT関連企業・研究機関から派遣される実務家による講義を配置
- 自治体・企業・研究機関の実データで課題解決力を鍛えるために産学官連携のPBLを展開

多様な入学者の確保

- 一般選抜の多様化(理系上位層を想定した数物重視と、2科目型で文系志望も受け入れ)に加え、探究を評価する総合型選抜を実施
- 女子学生の獲得に向け、ロールモデル講演・情報発信・在学中の支援体制を整え、文系学部との連携で間口を拡大
- 地域校連携(出張講義・体験講座・推薦枠拡充・併設校との協働)で地域に根差した受験動線を形成